

# 平成29年度 郡山女子大学「生涯学習講座」開講のお知らせ

## 女性を対象とした郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部の公開30講座

[学ぶことは生涯の仕業—講座開講33年—]

■受付期間 ※窓口は平日のみとなります。

前期・通年：3月21日(火)～3月23日(木)  
後期：8月29日(火)～8月31日(木)

※受付時間：9:30～12:00・14:00～16:00

受講料 1単位につき 講義・演習の科目 8,000円  
実験・実習・実技の科目 15,000円  
※ご希望「講義」が1科目2単位のものであれば16,000円となります。  
※この他に教科書代・材料費等がかかることがありますので、予めご了承ください。  
目安としては、約5,000円～10,000円くらいになります。  
※受講料の納付は授業開始後となります。  
※初めて受講される方は、申し込みの際に手数料として2,000円必要です。

郡山女子大学 教務部 TEL932-4848(代) FAX933-1957



ただいま、続けていきなさいです。

### 受講生のひるば

#### 油彩画を続けて8年、

まだまだ続けたいですね。

西坂美重さん(講師)

西坂さんは、2009年から「油彩画」を受講しています。もともと小学生の頃に、親類の美術の先生から油彩を習い、その後趣味として油彩画を続けてきました。この生涯学習講座で浅野先生に出会ってから、見た物をただきれいに描くのではなく、想像力や感性、自分の中からにじみ出るものを表に出して、殻を破ることが大切なんだ、ということを知りました。講座では、大学の1・2年生と一緒に、絵具や筆の使い方もいった基礎から学ぶので、全くの初心者の方も安心とのこと。学生さんたちの思いもよらない色使いや構図など、若い感性に刺激を受けるのも楽しいです。

7年位前から受講生仲間、遊入会というグループ展を年1回開いているそう。親の介護など日々いろいろある中で、油彩を描く時間はなくてはならないもの。まだまだ、続けてい

開講科目は、通年(1年間)、前期(4月～6月半)、後期(9月～12月半)のものがあります。希望される科目の開講時期(いつ)でもお申し込みをお願いいたします。お申し込みは3月9日現在のもので、変更がある場合があります。お申し込みの際はご注意ください。E-mail: admin@koriyama-kec.ac.jp

### 《通年開講科目》

#### 油彩画Ⅰ

西洋画の中心をなす優れた油彩絵具によるもので、自由な表現が可能。基礎的な技法の理解と研究から個人の能力を引き出し、表現力及び美術的感性を磨きます。(浅野 章教授) 月10:30～12:00(32,000円)

#### 彫刻Ⅰ

塑像による頭像制作、テラコッタ作品制作、木彫作品制作などを通して、彫刻の基礎的技法、表現の習得を目指します。(黒沼 令講師) 月10:30～12:00(32,000円)

#### 音楽鑑賞Ⅰ

音楽鑑賞では古典から現代に至る様々な分野の音楽を鑑賞する事により、時代性や地域性、作者の人生観や個性、また作品の音楽史的な役割や意義について考えます。(岡部 富士夫教授) 月10:30～12:00(32,000円)



### 《前期開講科目》

#### 宗教学の人間論

人間にとっての宗教の意義。宗教とは何か。生活禅、アニメやマンガなどを題材に、学問対象としての宗教を考察します。(福島 寛太郎(何燕生)教授・博士(文学)) 月14:30～16:00(16,000円)

#### 生活化学

化学の基礎と日常。本教科は、日常と関連した現象についての考察を取り入れつつ、化学の基礎を学習する教科です。化学の基礎概念は、物質とは何かを理解し環境や健康を考える基礎となります。(坂野 史明准教授) 月10:30～12:00(16,000円)

#### 臨床栄養学

「食」の持つ意義の深さを考える。長期の食生活や生活習慣のゆがみが、生活習慣病の発症に関与することが知られています。様々な疾病と栄養や食事との関係を理解し、その知識を疾病の予防、治療、増悪防止に活用できるよう解説します。(小林 澄枝准教授・管理栄養士) 月8:50～10:20(16,000円)

#### 国語表現法

文字の表現法を通して文章の骨格を学ぶ。文字使いは、各々の趣味と感受性の体系に基づきます。日本と英国の文学表現法に多く触れ文章の骨格を理解し、文章力を身につけます。(真船 均非常勤講師) 月8:50～10:20(32,000円) 月16:10～17:40 ※週2回の実施です。

#### 人間関係学

暮らしに役立つ心理学。子どもの愛着形成と共感性、愛情ホルモン、スマホ・ゲーム依存問題、DV・虐待の防止など、メンタルヘルスに関する最近の知見と話題を取り上げます。(堀 琴美講師・臨床心理士) 月10:30～12:00(16,000円)

#### 衣生活文化論

着ることの意味を知る。衣服は人間存在と深く結びついた文化のひとつであり、様々な心情が託されてきました。本講座では、衣服の流行や制度と慣習等を取り上げ、衣服と人の心の関わりを探ります。(田辺 真弓教授) 月10:30～12:00(16,000円)

#### 住生活概論

快適な住生活の創造。住まいの変遷や機能、今日的課題(デザイン、UD、環境等)について学習します。次に、スケールを意識しながら実際に建築製図を描き、住宅設計の基礎的知識を把握します。(阿部 志利子講師・博士(家政学)) 月12:50～14:20(16,000円)

#### 写真Ⅰ

写真の歴史から撮影技術までプロが伝授。写真の歴史、カメラの構造など基本的な知識を学習すると共に、デジタルカメラを使用してスタジオでの静物撮影、パソコンによる画像調整など、実習を軸に作品作りを行います。デジタル一眼レフカメラをご準備ください。(山口 郁生非常勤講師) 月14:30～17:40(15,000円)※2コマ連続です。

#### 生化学

科学の目でみた生命活動。生物は、代謝と呼ぶ化学反応で物質を変化させて生命活動を営んでいます。生命活動を化学の目で理解することを目指して、生物物質の役割やエネルギー代謝について学びます。(坂上 茂教授・博士(農学)) 月8:50～10:20(16,000円)

#### CGアートⅠ

コンピュータで造形表現。コンピュータによる視覚造形表現について演習形式で学習します。コンピュータとその周辺機器及びグラフィックソフトウェアの基本操作、表現技法の習得を目指します。(小松 太志准教授) 月8:50～10:20(15,000円)

#### 応用栄養学Ⅱ

健康で豊かな食生活。加齢による人体機能の変化を理解し、成人期、高齢期の望ましい食生活のあり方を学びます。またストレス応答に対する栄養ケア、健康づくりのための身体活動や栄養ケアについても学びます。(水野 時子准教授・管理栄養士) 月10:30～12:00(16,000円)

#### 国際文化史

大学の西洋史編成・基礎講座。現代文明の共通要素として大きな意味をもつヨーロッパ文明(欧米文化)について、その中世における形成から近代化を経て現在に至る過程を大掴みに概観します。(桑野 聡准教授) 月14:30～16:00(16,000円)

### 《後期開講科目》

#### 実用英語Ⅰ

英語は世界で広く使われ、国際コミュニケーションのために必要度は増えています。本講座では、音読や練習を繰り返すことにより実用的な英語力アップを目指します。(安田 純子教授・博士(家政学)・博士(事業構想学)) 月10:30～12:00(16,000円)

#### 写真Ⅱ

写真の歴史から撮影技術までプロが伝授。写真の歴史、カメラの構造など基本的な知識を学習すると共に、デジタルカメラを使用してスタジオでの静物撮影、パソコンによる画像調整など、実習を軸に作品作りを行います。デジタル一眼レフカメラをご準備ください。(山口 郁生非常勤講師) 月14:30～17:40(15,000円)※2コマ連続です。

#### 民俗学Ⅱ

遠野物語の世界。遠野物語にみられる神話性にふれながら、東北と日本文化の胎原にさかのぼり、現代の日本文化の問題を考える。(野沢 謙治教授) 月8:50～10:20(16,000円)

#### 美学

女性像に見るファッション。古代から現代まで、絵画や彫刻の女性像を通して、ファッションの移り変わりを概観します。特に19世紀前半の古典主義から20世紀の服飾に注目しましょう。(齋藤 美保子教授) 月8:50～10:20(16,000円)

#### 食文化・食行動論

日々繰り返される食生活、季節や行事に合わせて食べられる食事、さらに、地形、季節などの自然環境、宗教などの社会の影響を受けて形成され習慣化されて受け継がれてきた食文化を学び、多様化している現代の食を考えます。(浅岡 和子准教授・管理栄養士) 月10:30～12:00(16,000円)

#### 人間環境学

環境問題を考える。環境問題の原点である水俣病、放射線汚染、環境中での分解が難しい有機塩素系化合物ダイオキシンや水道水中のトリハロメタン、妊娠と医薬品についてサリドマイドを例とし講義します。(影山 志保准教授・博士(家政学)) 月10:30～12:00(16,000円)

#### 服飾文化論

「着る」を学ぶ。多様化する衣生活の中で、快適な衣生活を創造し、心地よく自分にあった衣服選びができるように、色も材質効果、カラーシミュレーションを通して、「着る」から「着る」を考えます。(船波 めぐみ准教授) 月14:30～16:00(16,000円)

#### 生理学

体の機能を学ぶ。人体を構成している組織や器官、たとえば血液、心臓、脳、腎臓などの正常な機能について体系的に学習します。生体の持つ恒常性(ホメオスタシス)の維持について理解を深めます。(紺野 信弘教授・博士(医学)・農学博士) 月10:30～12:00(16,000円)

#### 応用栄養学Ⅰ

女性の健康と生活。人の一生の各時期には、生理的に大きな違いがあります。妊娠期・授乳期、成長期(乳児期～思春期)それぞれの時期の身体特性、栄養特性、栄養ケアについて学びます。(水野 時子准教授・管理栄養士) 月10:30～12:00(16,000円)

#### 美術

美術と文学は時代の雰囲気表現するものであり、相互に影響しつつ発展してきました。その様子「源氏物語」と「源氏絵」、ロマン派の諸作品などを例にとります。(齋藤 美保子教授) 月10:30～12:00(16,000円)

#### 比較宗教学

宗教の共通性。一つ一つの宗教が知らないものはそもそも宗教を知らない。本講義はこのような比較宗教学の基本的なスタンスに基づき、「人間中心」の観点から諸宗教の起源や根拠を考察する。(福島 寛太郎(何燕生)教授・博士(文学)) 月10:30～12:00(16,000円)

#### 芸能

日本の芸能と世界の文化。日本の能楽、歌舞伎、あるいは世界のバレエのような身体芸術の最高峰や、個性豊かな民俗的、民俗的舞踏などをとおして、人間の身体文化と身体芸術の豊かさを考えます。(一柳 智子教授・博士(人文科学)) 月10:30～12:00(16,000円)

#### 保育の心理学Ⅰ

子どもの発達と保育。子どもの望ましい発達とは?望ましい自己概念形成に必要なアプローチとは?主にこの2点を、これからの保育の現場に立つ学生とと考えていきます。(折笠 国康准教授) 月12:50～14:20(16,000円) 月14:30～16:00 ※どちらかを選んでください。

#### 考古学Ⅰ

過去に人類の制作・使用したモノをもとに過去の人間の行動を研究する学問です。考古学の定義・目的・研究範囲・資料・研究方法について、考古学の基礎を学びます。(倉田 容弘准教授) 月12:50～14:20(16,000円)

#### 障がい児保育

子どもに寄り添った保育を目指し。昨今、保育現場には、様々な支援を必要とする子どもたちが存在しています。彼らの支援に有効な知識、技能を学びながら、目指すべき保育の在り方について考えていきます。(小林 徹准教授・博士(教育情報学)) 月16,000円)

月8:50～10:20  
月10:30～12:00  
月12:50～14:20  
月14:30～16:00  
※どちらかを選んでください。



(3) ●◎春分の日をはさんだ前後3日間を彼岸といい、お墓参りをする習慣があります。